

8 男女共同参画ってどんなこと？

【き】 学校では教えてくれない男女共同参画

私たちは、平成14年4月に施行された県の男女共同参画社会づくり条例にもとづき設置された、男女共同参画推進員で構成されているグループです。

正しい男女共同参画の知識を身に付けるには、子どもの頃からの教育が大事だと思います。ところが、学校ではそれを十分に教えているとは言い難いのが現状です。そこで、県立男女共同参画センターの協力を得ながら、トライやる・ウィークを活用してそれを学ぶ機会を提供しようと思いました。



パネルディスカッション「私と国際ボランティア」

【概】 オリジナル・プログラムで子供たちに充実した勉強を！

街頭インタビュー、職場訪問、異文化交流フォーラムなどを生徒が主体的に行動できるようなプログラムを考えて、毎年トライやるの生徒を受け入れています。最後には生徒がその成果をパネルにまとめて展示しています。

【成】 楽しく学んで、友達もできる！

インタビューやフォーラムでの司会進行など、できるだけ生徒たちが主体的に行動できるよう工夫しています。それによって、だんだん子供たちが物怖じせず、はっきり物を言えるようになっていく様子が目に見えて分かります。また、二つの中学校を同時に受け入れ、混成グループをつくりますので、最後の日など、涙を流して別れを惜しむくらい生徒同士が仲良くなります。それも大事な成果ですね。

【夢】 男女共同参画のまちを実現したい

トライやるだけでなく、男女ともに料理をつくるイベントや、性同一性障害についてのフォーラムなど、機会をとらえて男女共同参画の普及・啓発を行っています。これらを通して、女性も男性も互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画のまちを実現するのが私たちの夢です。

ドマソーラ神戸

代表者氏名：大倉潤子
活動地域：神戸市
事務所等：神戸市中央区琴緒町5-7-4-307
電話番号：078-242-1653
FAX番号：078-242-1653

組
も
に
取
り
合
い
等

イーブンネット神戸
⇒応援スタッフ

神戸新聞社論説委員室
⇒職場訪問

モザイク商業施設管理者
⇒街頭インタビュー

活用した支援

会議室、展示スペース、事務用品の提供（兵庫県）



やりたいことを形にしてお願いに行きました

街頭インタビューでお世話になるモザイク施設の管理者には、具体的にどんなことをしたいのか、書類を作って直接代表がお願いに行きました。また、当日に向けて、施設管理者、店舗主、駐在所、近隣のDuo神戸の管理者などに、当日ご迷惑をおかけするがくれぐれもよろしくお願ひしたいということをお願いして回りました。

地域で活動する団体のリーダーは、現場に出ること、現場での気配り、そして、何かあったときには自分が責任を取るということが大事だと思います。



チャンスを逃さず、その場でお願い

以前、「ふるさとひょうご創生塾」で神戸新聞の上羽慶市さんの講演をお聴きしました。そのとき、上羽さんが「これからの地域活動は企業のトップや専門家たちとつながっていくべきだ」という趣旨の発言をされました。私はその場で「それではトライやるで先生の職場を訪問させてください」とお願いをしました。先生は快く引き受けてくださいました。



マスコミと上手なお付き合いを

イベントなどの前にはスタッフが手分けして新聞社などをまわり掲載をお願いし、当日取材に来られたときも記事にさせていただくようお願いします。マスコミによる報道は、普及・啓発という点でも重要ですが、外部評価を得てその後の活動をやりやすくするという狙いもあります。メンバーの自信にもつながりますからね。だから、一度ご縁のあった記者さんとのつながりも大事にしています。

読者の皆さんへのメッセージ

私たちのプログラムに限らず、トライやる・ウィークで頑張っている中学生に出会ったときは、ぜひ温かい言葉をかけてあげてください。それも子供たちにとってはいい思い出になると思います。よろしくお願ひします。



神戸新聞社前で記念撮影